

学校概要

創立 36 周年	学校長 佐藤 典之	副校長 鳥山 真	学期 3 学期制	児童・生徒数 365 人
学級数 一般級: 10 個別支援級: 2			主な関係校: 深谷台小学校・深谷小学校・俣野小学校・大正小学校	

学校教育目標

「健康・自主・実践・愛」

○子どもたちが、人々や自然との豊かなかかわり合いを持つことを大切にします。【実践・公・開】
 ○子どもたちが自ら学び、自ら生きる力を創り出す力を高めます。【自主・知】
 ○子どもたちが自己実現できる力を高めます。【健康・体】
 ○子どもたちが社会の一員として、思いやりを持って行動できる力を高めます。【愛・徳】

学校の特徴

□地域の学校に対する期待も大きく、学校の教育活動に対し、大変協力的であり体験を伴った学習が展開できる。
 □関係機関との連携が密で、良好な関係を築くことができている。

■基礎学力の定着を図るための「学びの連続性」に関する研究を継続する必要がある。

学校経営中期取組目標

○基礎力・思考力・実践力を高め、「新しい時代に必要となる資質・能力」を育みます。
 ○「基礎基本」を大切に、「見通す・振り返る」学習活動を計画的に取り入れ、生徒が「主体的に学習に取り組む態度」を育みます。
 ○あいさつの奨励や規範意識を高めるための教育を充実させ、良好な人間関係を築くことにより、思いやりと福祉の心を育みます。
 ○自分や他のかけがえのない生命を大切にすることを進めます。
 ○家庭や地域と連携し、信頼関係を築くために、開かれた学校づくりを目指します。
 ○教師力を高めるために、研修の充実を図り、学びあう教職員集団を目指します。

小中一貫教育の取組

深谷中 ブロック : 深谷台小学校・深谷小学校・俣野小学校

9年間で育てる子ども像

自己教育力を身につけ、自らの手で自分を高められる子ども

自校の具体的取組

○ 教員の指導力向上のための校内授業研究会の実施
 ○ 子ども像の共有化、指導の工夫に向けた双方向の授業見学、合同授業研究会の実施
 ○ 人権教育に関する合同研修会の企画および実施
 ○ Fphの理念を小学校にも広げ、小中一貫して望ましい人間関係を築いていこうとする自主的、実践的な態度を育む。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	「見通す・振り返る」学習活動を取り入れることを心がけ、「主体的に学習に取り組む態度」を育みます。	○子どもの興味・関心や特性等を理解し、それらに応じた指導方法の工夫改善を図る。 ○習熟度別指導やITを効果的に活用し、基礎基本の充実を図る。 ○放課後の学習会の充実を図る。 ○ICTや学校図書館の活用等の充実を図る。
担当 学力・授業力向上部		
豊かな心	だれもが安心して豊かに過ごせる学校を推進し、いじめ根絶と不登校の減少を目指します。	○登校支援アプローチ計画に基づく支援の充実を図る。 ○集団活動や体験活動の充実を図る。 ○いじめ撲滅組織(Fph)を中心とした組織的取組の推進。 ○人権意識を育むための道徳教育の充実。
担当 人権・道徳・国際理解部		
健やかな体	食育の推進・体力向上1校1実践運動・健康安全教育を通じた健康な体づくりの推進を図ります。	○1校1実践運動の「ソーラン節」を通して体力向上を図る。 ○外部機関(ヘルス・メイト)と連携し、食育指導の充実を図る。 ○関係機関と連携し、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に関する教育の充実を図る。
担当 食育推進委員		
安全管理	だれもが安心して安全に過ごせる学校を目指し、危機管理体制を見直し、組織としての対応力の強化と事故未然防止に努めます。	○生徒の活動を常に教職員が見守る指導体制の工夫。 ○危機管理意識を高めるための危機管理演習の実施。 ○学校施設の安全点検の充実。
担当 保健安全・生徒指導部		
特別支援教育	特別な支援を必要とする生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行います。	○特別支援委員会を定期的に行い、情報の共有を図る。 ○生徒一人ひとりのニーズに応じた、取り出し授業の充実。 ○特別支援教育に関する教職員研修の充実。
担当 特別支援教育委員		
地域連携	地域の人材を活かし、地域の人との関わりや多様な環境から学ぶ機会を通して、子どもの豊かな成長を支えとともに、地域との連携を図ります。	○地域行事への参加や奉仕活動の推進。 ○学校ウェブサイトによる学校の情報発信。 ○学校支援ボランティアの活性化。 ○学校評議員会を中心とした学校と地域の連携推進。
担当 渉外部		
人材育成・組織運営	研究と研修の効果的な実施により、授業力・教師力の向上を図り、学び続ける教職員を目指します。	○校内授業研究の実施と授業の質の向上。 ○教職員の研究・研修を総合的に企画・構築する体制の整備。 ○月1回の研修の実施。 ○臨時的任用職員の育成・指導。
担当 職員研修部		